

ラボ・センター紹介

起業デザインラボ

(Entrepreneur Laboratory)

代表 前野 隆司 教授 maeno@sdm.keio.ac.jp

メンバー 春山真一郎教授、白坂成功准教授、保井俊之特別招聘教授、湊宣明特任准教授 ほか

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/el/Aboutus/aboutus.html>

慶應SDMには、毎年十人以上の経営者が学生として学んでおり、起業や会社内起業を行いたいという学生も少なからずいます。では、慶應SDMの方法論や手法を用いて、起業や新規ビジネスについて考える場を作ろうではないか。そのような考えで集った学生・教員によって2012年夏に発足した新しいラボです。

ラボの活動

- 起業デザイン学を体系化し、2013年度から始まる科目「起業デザイン論」に貢献
- 起業経験者、経営経験者の話を聞く会を実施し、実践的な知識や心構えを学ぶ
- システム思考・デザイン思考などのSDMの方法論を用いてそれぞれのビジネスアイデアをブラッシュアップする会を開催
- 起業のための基本(経営学、会計学、イノベーションなど)の勉強会を開催(今年度は「ビジネスモデル・ジェネレーション」を用いた湊准教授の勉強会を開催)
- 未来デザイン会議を共催
- その他、起業や新規事業の関するディスカッション・情報交換・共同研究



ラボの様子

上述のように2013年度には新しい科目「起業デザイン論」が立ち上がることも決まるなど、メンバー一同活発に活動しています。ご興味のある方はお気軽にご参加ください。お待ちしております。

先進都市デザインラボ

(Advanced City Design Laboratory)

代表 中野 冠 教授 nakano@sdm.keio.ac.jp

メンバー 佐々木正一教授、湊宣明特任准教授、野中朋美特任助教 ほか

目的

我が国の少子高齢化、東日本大震災に代表される自然災害、世界的な環境都市建設ブームの中、持続可能な都市に関するコンセプトづくりが望まれています。本ラボでは、政策評価に関する包括的方法論を研究するとともに、政策を提言していきます。

方法論

本ラボでは、自然災害や高齢化社会などに対する都市の課題を可視化し、目標を定め、それを達成するための具体的な取り組みたとえば政策やインフラ等を提案するための包括的方法論を研究しています(図参照)。

提案する施策を、持続可能性基準すなわち環境・経済・社会の3つの視点を統合して評価することによって、その地域に適した都市デザインの基本コンセプトを関係者で議論することが可能になると期待しています。

関係者が合意する上で、問題分析と政策の定量的評価すなわち複数の政策を複数のシナリオで定量的に分析することが特に重要です。定量的評価には、システムダイナミクス、マルチエージェントシミュレーション、人口動学、ライフサイクルアセスメント、産業連関分析、一般均衡モデル、ゲーム理論などの手法が使われます。

具体的テーマ

- 先進都市デザインラボでは、これまで次のような研究を行ってきました。
- 1) 多摩ニュータウンなど、高度経済成長期に作られた大都市近郊ニュータウンの持続可能性を持つ再開発デザイン
 - 2) 関東大震災や戦後の混乱期に乱立した東京都の杉並区、荒川区等における木造家屋の密集地再開発政策
 - 3) 富山、北九州など、先進的地方都市の魅力分析
 - 4) 横浜、日本橋など、大都市高層ビル地域再開発における持続可能性評価
 - 5) 東北被災地における復興計画や都市計画

活動

企業パートナーとともに活発な議論を展開しています。研究会を月1回程度の頻度で開催して方法論を議論するとともに、現地における視察、インタビューを行っています(写真)。また、欧州の大学など海外からも共同研究の誘いを受けています。

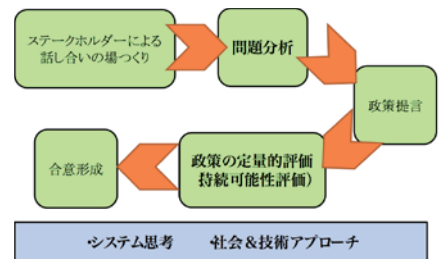


図. 先進都市デザインの包括的方法論



写真: 現地の見学(富山市、北九州市、石巻市)



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management